

## 別紙

## 指定管理業務評価表

施設名	小牧市ふれあいの家（心身障害児通園施設あさひ学園）		
対象年度	令和4年度	評価担当部	福祉部
指定管理者名	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会 （法人番号 1800-05-008384）		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：8人 非常勤職員：15人 合計：23人		

## 1. 利用実績

## (1) 利用者数(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年度比
利用 人数	あさひ	300	345	462	464	276	481	424	417	347	360	409	412	4,697	98.4%
	あすなろ	78	111	142	67	60	160	139	148	102	129	30	102	1,268	100.1%
	計	378	456	604	531	336	641	563	565	449	489	439	514	5,965	98.8%
1日 平均	あさひ	20.0	21.6	21.0	23.2	23.0	22.9	21.2	19.9	24.8	22.5	18.6	25.8	21.8	-
	あすなろ	5.6	6.9	6.5	6.7	5.5	8.0	7.0	7.8	7.8	8.2	2.4	7.8	6.5	-
	計	25.6	28.5	27.5	29.9	28.5	30.9	28.2	27.7	32.6	30.6	20.0	33.6	28.2	-

## (2) 増減要因

利用人数は微減であるが、令和4年度はあさひ組の開設日数が前年に比べ10日ほど少ないため、1日平均利用人数で見れば、前年度とほぼ同水準である。

## 2. 利用者アンケートの結果

実施期間	1回目：7月1日から7月31日 2回目：1月10日から1月31日	回答数	73人／96人 83人／107人
アンケート 結果の 概要等	<p>満足度は「満足」72%（前年76%）、「概ね満足」27%（前年24%）となり、前年同様、高い評価を得ている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についても、「安心できる」「概ね安心できる」との回答が100%を占めており、十分な対策が実施されている。自由意見については、様々な意見が収集できており、施設に対する感謝の声も多かった。主な意見は以下のとおり。</p> <p>① テラスデッキで遊ぶと茶色の汚れが服や靴についてしまうことが気になる。</p> <p>② コロナ禍で保護者同士の交流が少なくなった。他の子の保護者の方とも交流し子供のことで意見交換できるとよい。先生方も忙しいとは思いますが、悩んだときにすぐ相談できるよう、先生方に気軽に話せるよう</p>		

	になるとよい。
具体的な 対応状況	<p>利用者の自由意見に対して丁寧に回答されており、必要に応じて改善策や運営の変更等が検討されている。</p> <p>上記「アンケート結果の概要等」にある主な意見に対する施設の回答は以下のとおり。</p> <p>① 「色移り」につきましては、大変ご迷惑をかけております。市や業者に対策について意見を求めています。有効な対策に至っておりません。大変申し訳ありませんが、十分にご注意をいただきご利用をお願いします。</p> <p>② コロナ禍において、様々な交流の機会を自粛することとなりました。今後対策の見直しがされることに伴い、実施できていなかった交流を、可能な限り段階的に復活し実施しようと検討を重ねております。是非ご参加をお願いします。</p> <p>相談時間が取れていないことは申し訳ありません。皆さんとの「相談（お話し）」は、当園において最も重要な事項と考えています。是非声掛けいただき、お話をする時間を作っていきたいと考えていますのでよろしくをお願いします。</p>

### 3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和3年度 (前年決算額)	令和4年度 (現年決算額)	令和5年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	81,370	82,916	96,189	
	事業収入	0	0	0	
	合計	81,370	82,916	96,189	
支 出	人件費	66,553	68,026	78,002	
	事業費	9,524	9,770	10,801	
	事務費	4,887	4,714	6,950	
	その他	406	406	436	
	合計	81,370	82,916	96,189	

### 4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>○ 事業計画における人員配置を満たしている。</p> <p>○ 職員研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により未開催と実施できなかった部分もあるが、愛知県社協が主催する研修や、救命講習など参加が可能となった対面での研修なども受講している。管理者向けの研修など、オンライン研修も利用し、研修機会を確保している。また、専門療法研</p>

	<p>修やグループ討議など、独自の施設内研修を充実させることで職員の知識、技術の向上に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用促進について保健センター、子育て世代包括支援センター、保育園などの関係機関との連携や、ホームページでの案内、ラピオで実施される「子育て知って楽しい情報 Week」への出展など、事業の周知活動に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設・設備の点検・保守は協定に基づき適切に行われている。</li> <li>○ 施設内の清掃については、施設清掃業務を再委託しているほか、職員による清掃も毎日実施されており、常時清潔に保たれている。</li> <li>○ 実効性のある避難訓練（非常用すべり台の利用体験、地震・火災訓練（消火訓練））が年2回実施されている。</li> </ul>
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症防止のため中止されていた「ふれあいまつり」を参加者を分割して再開した。家族間交流のきっかけとなった。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響で保護者同士の交流の場が不足していたが、令和4年度下半期ごろからは、家族間の交流の場を設けることが出来る様になった。以前は保護者の中でいろいろ話し合いの場があったのだが、コロナ禍で経験者の多くが卒園してしまったため、保護者自身での再構築は難しい。園として対策を検討中。</li> </ul>
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響があったが、創意工夫により「家族参加日」「バス遠足」「学習会」などのイベントを開催しており、アンケートなどから感謝の声が寄せられている。</li> <li>○ 利用者アンケートが年2回実施されており、満足度（「満足」「概ね満足」の割合）は100%（前年100%）となっており、高い水準を維持している。また、自由意見に対して丁寧に回答されており、アンケート結果に基づいた改善も施されている。</li> </ul>
収支状況 及び 経費節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者向けの通知をコミュニケーションアプリを活用した配信に変更するなど、ペーパーレス化や施設内の照明をLEDに変更するなど積極的に取り組み、経費削減が確実に実行されている。</li> </ul>
その他 （緊急時の対応、 市の改善指示に対する 対応等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設自体が福祉避難所として使用される予定であるが、開所中に大雨や暴風といった警報の発出が予測される場合は、早めの帰宅を促すなどの方法が取られている。</li> </ul>